

## 13. 平成 25 年度客員研究員等

客員研究員氏名	所属機関及び役職	客員研究内容
勅使川原 正臣	名古屋大学 大学院環境学研究科 教授	巨大地震等に対する建築物の応答推定精度向上に資する入力および構造解析モデルの研究（個別重点）
楠 浩一	横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授	巨大地震等に対する建築物の応答推定精度向上に資する入力および構造解析モデルの研究（個別重点）
倉本 洋	大阪大学 大学院工学研究科 教授	巨大地震等に対する建築物の応答推定精度向上に資する入力および構造解析モデルの研究（個別重点）
平石 久廣	明治大学 理工学部建築学科 教授	巨大地震等に対する建築物の応答推定精度向上に資する入力および構造解析モデルの研究（個別重点）
岡田 恒	財団法人日本住宅・木材技術センター 試験研究所 所長	建築物の竜巻による発生被害メカニズムの研究（基盤研究）
田村 幸雄	東京工芸大学 工学部建築学科 教授	建築物の竜巻による発生被害メカニズムの研究（基盤研究）
河合 直人	工学院大学 建築学部 教授	大空間木造建築の普及に資する各種構造要素の開発（基盤研究）
五十田 博	京都大学 生存圏研究所 教授	大空間木造建築の普及に資する各種構造要素の開発（基盤研究）
緑川 光正	北海道大学 大学院工学研究院 教授	巨大地震等に対する建築物の応答推定精度向上に資する入力および構造解析モデルの研究（個別重点）
清水 康利	TOTO（株） ESG推進部 次長兼研究 主幹	建築物の超節水型衛生設備システムにおける技術的課題の克服に関する研究（個別重点）
竹崎 義則	TOTO（株）総合研究所 素材研究部 主 席研究員	建築物の超節水型衛生設備システムにおける技術的課題の克服に関する研究（個別重点）
河野 守	東京理科大学工学部第二部建築学科 教授	緊急性が高い既存不適格建築物の火災安全性向上技術の開発（個別重点）
長谷川 拓哉	北海道大学 大学院工学研究科空間性能シ ステム専攻空間システム部門 准教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発(個別重点)
吉澤 望	東京理科大学 理工学部建築学科 准教授	省エネ基準運用強化に向けた住宅・建築の省エネルギー性能評価手法の高度化（個別重点）
本橋 健司	芝浦工業大学 工学部建築工学科 教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発(個別重点) アスベスト含有成形板の改修工法に係る経年後の性能検証（基盤研究）
杉山 央	宇都宮大学 大学院工学研究科 教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発（個別重点）
大久保 孝昭	広島大学 大学院工学研究院社会環境空間 部門 教授	建築物の技術基準への適合確認における電子申請等の技術に関する研究（個別重点）
有川 智	東北工業大学 工学部建築学科建築生産工 学 教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発（個別重点）

千歩 修	北海道大学 大学院工学研究科空間性能システム専攻空間システム講座建築材料学研究室 教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発（個別重点）
内田 晃	北九州市立大学 都市政策研究所 准教授	アジアの蒸暑地域に対応した低炭素型戸建て住宅設計技術に関する研究（個別重点）
糸井川 栄一	筑波大学 大学院システム情報系 教授	被災地の社会経済状況を踏まえた応急・復興住宅の需給構造に関する研究（基盤研究）
寺木 彰浩	千葉工業大学 工学部建築都市環境学科 教授	高齢者等の安定した地域居住に資するまちづくり手法の研究（個別重点）
松村 博文	（独）北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 居住科学部 主査（地域計画）	高齢者等の安定した地域居住に資するまちづくり手法の研究（個別重点）
橋本 成仁	岡山大学 大学院環境生命科学研究科 准教授	高齢者等の安定した地域居住に資するまちづくり手法の研究（個別重点）
※菅野 俊介	広島大学 名誉教授	国際地震工学研修 開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）
※八木 勇治	筑波大学 大学院生命環境科学研究科 准教授	国際地震工学研修 開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）
※井上 公	（独）防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域災害リスク研究ユニット 総括主任研究員	国際地震工学研修 開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）
※都司 嘉宣	東京大学 地震研究所 准教授	国際地震工学研修 開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）
※齊藤 大樹	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 教授	国際地震工学研修 開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）
※関 松太郎	J I C A 長期専門家（中国）	国際地震工学研修 開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）

注）所属機関及び役職は客員研究員委嘱時のもの  
氏名の前に※印がある者は、特別客員研究員